

みんなの 町議会

広島県
神石高原町

第56号
平成30年10月15日

平成29年度 決算	2
平成29年度 決算質疑	4
平成30年度 補正予算質疑	8
町政のココを聞く	12
ありゃあどうなったん	19



みんなで応援!
ワー入るかな!!

決算

財政を維持

9年連続実質公債費比率の改善

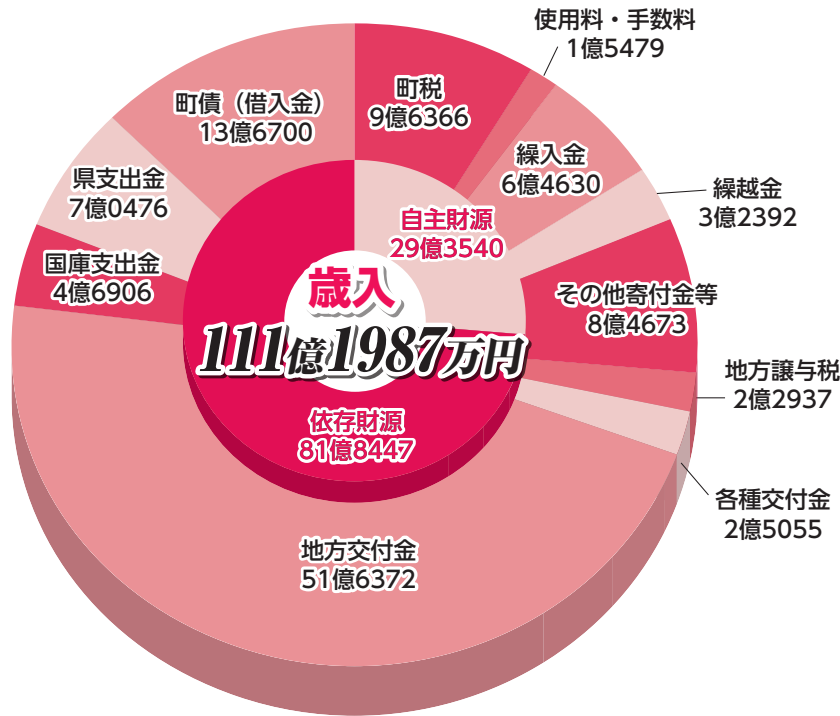
一般会計 **111億1987万円**

前年度比 **9.2%減**

9月
定例会

歳入

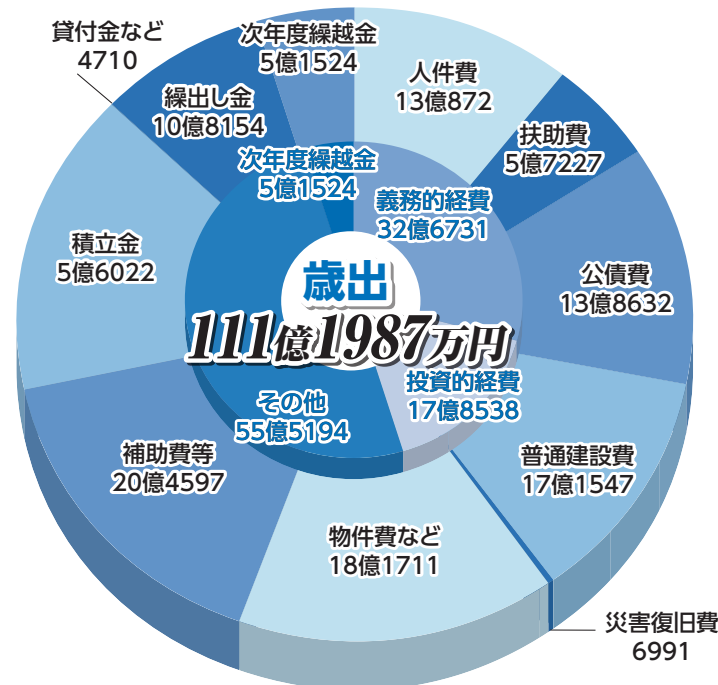
前年度比で、額にして11億2223万円、率にして9.2%の減。主な要因は繰入金・地方交付税や国庫支出金の減少による。一方で町債や財産収入が増加。



9月定例会は、9月5日から20日まで開かれました。平成29年度の全会計を決算認定し、平成30年度の補正予算を含め、24議案を審議して、すべて原案通り可決しました。一般質問では6人が町長・教育長に行政課題などについていただきました。

歳出

支出済額の執行率は95.8%。前年度比では10億7595万円、率にして9.2%の減。いずみ保育所新築や災害復旧で増加。土木費や公債費で減。



平成29年度 健全

謹んで豪雨災害の
お見舞いを申し上げます。

7月豪雨災害は、本町にも大きな被害をもたらしました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。今回の災害は、多くの課題と教訓を与えてくれました。防災・減災の取り組みを強化し、安全なまちづくりに向けて取り組んでいきます。



神石高原町議会議長
松本 彰夫

***実質公債費比率**

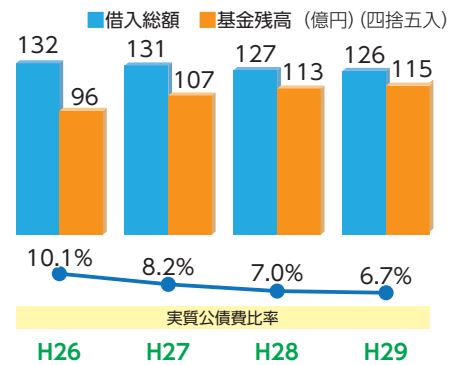
自治体の収入に対する負債返済の割合を示すもの。18%以上だと新たな借金をするため国や県の許可が必要。

10ページに関連記事

決算指数の推移

単位：万円 (四捨五入)

	26年度	27年度	28年度	29年度
実質公債費比率	10.1%	8.2%	7.0%	6.7%
借入総額	131億5078	130億5759	127億0528	126億3720
基金残高	95億5369	107億3962	112億7902	114億9929



平成29年度 各会計歳入歳出総括表

全会計で歳出総額 前年度比5.5%減

単位：万円 (四捨五入)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	繰越財源	差引残高	
一般会計	111億1987	106億0463	5808	4億5717	
特別会計	国民健康保険	12億1627	11億2882		8745
	後期高齢者医療	3億6161	3億5364		796
	介護保険	18億2389	18億0335		2054
	簡易水道事業	5億7381	5億6218		1163
	飲料水供給施設事業	4170	3775		395
	農業集落排水事業	2億4734	2億3638		1096
	分収育林事業	9	4		5
計	153億8458	147億2679	5808	5億9972	
企業会計	病院事業会計	4億6334	4億6333		1
合計	158億4793	151億9012	5808	5億9973	

平成29年度スローガン

「誰もが挑戦できるまち」8つの挑戦を

チェック



定住促進の強化

第2宅住団地調査
 住宅改修等
 誕生・入学祝金

4381万円

元気に歌う子ども達

町民が尊敬しあえる環境づくり

こだわり楽人の会設立
 達人ネットワーク構築プロジェクト

54万円

神楽面作成名人 平田さん

超高付加価値農業

JIN(神)プレミアム 4件の認定
 PR物品作成等

189万円

ブルーベリージャム

チャレンジファンドの創設

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金の設立
 運営補助金
 出資金等

3928万円

チャレンジファンドのロゴ

決算質疑

政策企画課

JIN(神) プレミアム認定

林議員 JIN(神)

プレミアム認定商品の、売り上げは向上したか。

政策企画課長 認定したのが3月なので、期間が短く把握は出来ていない。今後は、売上動向を注視していきたい。

ふるさと回帰塾

横尾議員 ふるさと回帰塾の目的は若者の定住促進であるが、その後の状況は。

政策企画課長 町外から15人の参加があった

が、定住にはつながっていない。効果としては※関係人口が増加した。

超高付加価値農業

横尾議員 超高付加価値農業振興事業にある需用費の160万円の内訳は。

政策企画課長 JIN(神)プレミアムの認定にかかわる経費で、物品の購入を行った。内訳は、ラベル5000枚や缶バッチ300個などである。

※今まで神石高原町を知らなかった人が、地域の人々と多様に関わること。



医療・福祉サービス

☑ ふれあいタクシー
 ○ 生活公共機関確保事業

1億2267万円

買い物に利用されるふれあいタクシー



行財政改革の推進

☑ 消防団員数の確保
 ○ 報酬・出勤手当
 ○ 安全装備品購入等

6139万円

水防も期待される消防団

総務課

財政運営
 (単年度収支)

木野山議員 全9会計の内、単年度収支が赤字の会計が7会計あり、赤字合計額は1億1293万円である。全体会計では1億816万円の赤字となった。
 要因は、また今後の財政運営方針も伺う。

総務課長 前年度の繰越金を使う額が増加してきており、この状況が続くと予算運営の弾力性が失われてくる。
 今後財政の健全な維持を行う中で歳出の抑制、歳入に見合った予算規模を基本的考えとして財政の健全化を図っていきたい。
 平成35年度までの財政計画づくりを改めて行いたい。

木野山議員

全体会計での赤字は今まで無かったことだ。しっかりと分析を行い安定的な財政運営に努めて頂きたい。

町長の責任

久保田議員 昨年職員の仕事ミスが相次ぎ懲戒処分が行われたが町長はどんな責任を取られたか。

町長

責任は痛感している。内部統制を図りたい。

遊休財産処分

赤木議員 遊休財産処分の優先順位に危険性や地元の要望は反映しているのか。

総務課長

処分後の効果的活用を念頭に行っている。地域からの要望も調査して対応する。

消防団員確保

赤木議員 消防団員の確保や処遇改善のための取り組みは。

総務課長

機能別団員で人員の確保は行った。決定的なものはないが他市町の様子も見ながら進めたい。

不適切な財務処理

林議員 監査から、決算全般に不適切な財務処理の指摘があるが説明を。

総務課長

補助金の交付決定の執行を行う際に、財務規則の手続きを踏まない会計処理があった。
 今後については町の財務規則の更なる確認を行ない、係長を中心に事務的な漏れがないか指導確認を徹底する。経営戦略

会議の中でも適正な事務について協議し、管理職にも指導を図る。

山崩れ発生
 予知施設

林議員 消防費に山崩れ発生予知施設管理経費が支出されているが、平成30年7月豪雨で機能したか。

総務課長

町内各所に設置している雨量計の維持管理経費だ。各種警報などの気象情報や、土砂災害の警戒情報、災害危険度情報が発令される元になっている。豪雨災害でも機能した。



神石支所内設置の雨量計

協働のまちづくりの推進



☑ 協働支援センターの運営支援・財政支援
9693万円

協働支援センターの総会

世界を相手にできる人財



☑ オーストラリア姉妹校調印
・イングリッシュ
フェスティバル
300万円

英語のスピーチをする中学生

まちづくり推進課

協働のまちづくり
団体支援事業

木野山議員 ふるさと納税の95%部分は、単に金額的な報告だけでなく寄付者の目的通りの使用でも公序良俗に反していないか法律違反はないか検証することが必要だ。

まちづくり推進課長

基本的には他者からの指定寄付なので確認が必要だ。NPO団体などの報告書・予算書を町のホームページに公開しているの、寄付者の判断によると思う。

起業支援
サポート事業

横尾議員 3件の起業に対して補助金が交付されているが、書類審査のみであったようである。

ビジネスコンテストとの整合性は。

まちづくり推進課長 監査委員や議会からの指摘があったので、平成30年度は予算計上していない。

起業家支援

赤木議員 起業家の安定経営に向けた今後の取り組みは。

まちづくり推進課長

商工会と協力しながら情報提供や、福山ビジネスサポートセンターへの紹介など取り組んでいる。

建設課

優先順位

赤木議員 町道整備の優先順位は。

建設課長

舗装の状態や、幅員、利用状況や危険度、また地域の要望などさまざまな事情を考慮して優先順を決めている。

保健課

協議体の運営と成果

林議員 生活支援体制整備事業の協議体の運営は、被介護者や家族負担の軽減に、具体的にどういった成果をあげたか。

保健課長 平成29年度から社会福祉協議会に委託し、協議体の設置を行った。

関係者とのネットワーク化を図り、情報共有や課題調整をした。今後は課題を整理しながら、地域資源マップを活用し3年間の重点目標としている色々な見守りに取り組む。

政策医療交付金

横尾議員 医業収益の1%が、病院職員の福利厚生費として政策医療交付金に含まれている。町でなく指定管理者が行うべきでは。

保健課長 平成27年度に政策医療交付金が完全精算になってから行われている。

職員のモチベーションの維持をし、看護師不足対策などに活用されている。



陽正会が運営する町立病院

平成29年度 決算認定採決結果

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本 議長
神石高原町一般会計・その他7特別会計	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—
神石高原町病院事業会計	○	○	○	○	×	○	×	欠	○	○	○	—

議長は採決に加わらない

平成29年度 決算審査意見書(抜粋)

代表監査委員 橋本 龍之
監査委員 橋本 輝久

平成29年度の予算編成は、経常経費の見直しや債務残高の縮小、基金の運用等による財源の確保により持続可能なまちづくりの実現に向け取り組まれた。

健全な財政運営の中で「総合戦略」の確実な実行を期待する。

税・使用料等の収納率は高く、公平性の観点から高く評価できる。不納欠損処分に当たっては、町民に対して説明責任が果たせるよう適正に行われたい。

決算審査を通して感じた点や意見・要望

①ふれあいタクシー運賃補助

運用実態を調査して、見直しを検討されたい。

②地籍調査事業

未完了地区が長期にわたり完了してない。早期完了を強く望む。

③神石高原総合開発事業

第2定住団地候補地
ボーリング調査業務
早期に「困難」の判断をすることにより、調査費の縮減できたと思慮する。

④起業支援サポート事業

申請から交付まで書類審査のみである。昨年意見書で指摘したが改善されていない。

⑤神石高原町斎場やすらぎ苑設置管理条例

葬祭場のみを使用を不可としている。適正に運用されたい。

⑥中山間地域所得向上支援事業

中原谷地区基盤整備工事
目的に沿った事業取組が不十分であった。事業推進にあたり、関係者間の協議、理解を得て進められたい。

⑦建設工事における監督員

監督員に指定された職員は、自覚してその権限を行使されたい。

⑧財務処理について

適切でない会計処理が多く見受けられた。再発防止に努め適切に処理されたい。

⑨職員の健康管理と意識改革

内部統制機能の充実を図られたい。

9月補正予算

補正後特別会計を含む

補正予算額

補正総額

2億6856万円

総予算額

194億3793万円

おもな補正事業

・保健センター移転

補正額 **333万円**

三和共同福祉施設を改修し保健課仮事務所を整備する

・小学校ブロック塀等改修（町内各小学校）

補正額 **1643万円**

大阪北部地震で小学校プールのブロック塀が崩壊したことを受けての措置。

・野球場・グラウンドの復旧

補正額 **2366万円**

三和野球場法面復旧等 …… 1106万円
新坂グラウンド法面復旧 …… 1260万円

・いずみ保育所施設管理

補正額 **291万円**

プロパン庫屋根工事費など

・油木百彩館管理運営経費

補正額 **380万円**

(有)油木特産販売の清算に要する経費

・簡易水道施設災害復旧 簡易水道

補正額 **1896万円**

井関配水池管理道復旧 …… 167万円
市場取水場管理道整備 …… 1728万円

・政策医療交付金 病院事業

補正額 **1922万円**

政策医療の提供に要する経費負担
(確定精算額は2億2022万円)

補正予算質疑

総務課

防災計画の委託先

横尾議員 神石高原町
地域防災計画及び各種マニュアル改定業務の委託先と効果は。

総務課長

委託先は、(株)地域計画工房。課題を整理し、現実に合ったものにした。

保健課

政策医療交付金

横尾議員 政策医療交付金の内訳は。

保健課長

決算額の確定による政策医療交付金の追加分である。

建設課

側溝管理

赤木議員 地域自治振興会が行う側溝清掃の補助が出ている。豪雨災害に備えた対策は。

建設課長

災害対策として、別枠で行政が行なう。

まちづくり推進課

法面崩壊の原因

林議員 三和野球場裏法面・新坂グラウンドの法面の崩壊の原因と今後の対策は。

まちづくり推進課長

三和野球場は法面上の山

福祉課

いずみ保育所 プロパン庫屋根

林議員 プロパン庫の屋根はどの時点で必要と分かったのか。設計ミスでは。

福祉課長

当初は不要であると判断していたが、建設工期中、積雪などの危惧があると意見を頂いた。安全に速やかに工事を進めていく。

道がくぼみ、常時水たまりの状態だった。排水設備を整備する。
新坂のグラウンドは、永年、沈下による雨水が原因である。早急に発注する。

指定管理施設の 備品予算

橋本議員 一部の指定管理福祉施設で軽微な備品まで、町の購入となっている。なぜか。

福祉課長 この施設では、旧町村時代に町が備えていたものだ。

副町長 今後、検討する。

産業課

百彩館の清算

久保田議員 今年度の事業計画で会社清算には一言も触れてない。総会で計画を承認し、一週間後には道の駅との統合を進めている。おかしいではないか。

副町長 赤字が出ているので、以前から計画しており、役員・油木地区

の方の合意を得た。

久保田議員 出資金が欠損になっている。町費を入れて、出資金を全額返金しているが、時価で返金すべきだ。

副町長 第三セクターであり政策的に判断し町が支援すべきと考えた。

久保田議員 新店主は道の駅の商品開発を兼ねているが、そんなことで運営ができるのか。

副町長 できるように指導する。

木野山議員 380万円の予算が計上された。積算明細を伺う。

産業課長補佐 7月末で資産555万円、負債740万円、これに未払い消費税など180万円あり、差引き合計でマイナス365万円となる。8・9月の予想赤字で15万円を加え清算経費380万円を見込み計上した。

手数料の統一

横尾議員 油木百彩館と182ステーションの統合で、手数料の統一をしなければ、再度POSシステム統合に経費がかかるのでは。

副町長 手数料については、今後検討する。

182ステーション 精米機移転

小川清治議員 さんわ182ステーションの精米機は移設費用を、なぜ182ステーションの補助金として計上されているか。

産業課長補佐 電気設備などすべて含まれるので、補助金として取り扱った。

農業用水路施設

寄定議員 豊松トマト団地水源確保事業の地元分担金は1割である。他の栽培農業者との公平性はどうか。

産業課長補佐 分担金条例にもとづき決めている。今後は検討したい。

沈砂池埋め立て

橋本議員 トマト研修ハウスの沈砂池埋め立ては工事期間中ではなく、なぜ今か。

産業課長補佐 当初は雨

水が沈砂池に流入していたが、浸透し沈砂池の必要性がなくなったので、今回埋め立てる。

環境衛生課

クリーンセンター 陽光 覆土作業

木野山議員 今回なぜ前倒し補正か。ごみの増加なら原因は何か。

環境衛生課長 3年に一度の覆土計画だが、今回自治会の粗大ごみ集団回収量が予想を超えたため前倒し処理とした。今後は精査し搬入ごみ量を抑え、最終処分場の長期活用を目指す。



移設予定の精米機

平成30年度補正予算 議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本 議長
神石高原町一般会計	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	—
その他6特別会計・病院事業会計	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—

議長は採決に加わらない

8月補正予算

西日本豪雨災害
復旧予算24億円



消防費 **1億280万円** 災害復旧事業費 **22億9720万円**

神石高原町議会 8月臨時会

8月3日（金）臨時会を開催し7月豪雨災害復旧に関する補正予算を承認しました。

一般会計 8月補正額

歳入

歳出

国	公共土木災害	7億6854万円
県	農地農業施設	10億418万円
	林道施設	5849万円
町	財政調整基金引出し	3億5000万円
	町借入金（災害復旧債）	2億1240万円
	その他（繰越金・雑入）	639万円

消防	消防団	102万円
1億280	災害対策（備蓄品）	289万円
	【町新規】災害対策など	9890万円
災害復旧	農地農業施設	11億1112万円
22億9720	林道	7559万円
	道路・橋	11億866万円
	社会教育施設など	183万円

林議員
消防費内訳は。

消防費内訳

優先順位はまず公共道路河川などだ。

副町長

今後測量・設計・工事を行っていく。業者も限られており単年度中では難しく3か年程度かけて復旧する。

寄定議員

工程の計画

どのような工程で計画を執行するのか。事業者も限定されるが優先順位は。

建設課長

災害にかからなかった箇所に関しては、報告書に説明を記入して振興会に返却する予定だ。難しい案件は丁寧に説明したい。

橋本議員

災害調査の説明

8月臨時議会 補正質疑

総務課長
災害発生時、消防団は延べ300人程度が災害対応を行った。この出勤手当の予算化だ。

ため池調査

林議員

ため池の決壊に対して町はどのように調査するのか。

建設課長

県と調整を図り、再度ため池の管理者と調整してきちんとした管理に努める。

経費の内訳

木野山議員

災害対策費に含まれる食糧費は何か。対策経費の8500万円の内容は、食糧費は備蓄食料の補充に使用。

8500万円は町独自の施策で、宅地の土砂撤去・孤立の解消などの予算。また40万円以下の農地の復旧などに充てる。

条例制定・改正

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

条例の一部改正

全会一致

町財産の交換、譲与、無償貸し付けに関する条例
・町財産を少子化対策・定住対策として低額譲渡するための規定。(他3件)

条例の廃止

全会一致

まるごと市場設置及び管理条例の廃止
・神石高原まるごと市場廃止によるもの。

権利の放棄

全会一致

放棄する権利の内容
有限会社神石高原直売公社に出資した額 245万円
放棄する権利の相手方
有限会社神石高原直売公社 精算人
・回収不可能な債権の放棄

工事請負契約の締結

全会一致

工事名 帝釈の湯改修工事
場所 神石高原町相渡 (スコラ高原地内)
金額 1億3392万円
請負者 株式会社後藤組
工期 平成30年9月21日～平成31年3月29日

指定管理者の指定

賛成多数

施設の名 神石高原町立病院
指定管理者 社会医療法人 社団陽正会
指定の期間 平成31年4月1日～平成36年3月31日

財産の取得

全会一致

消防ポンプ自動車CD-1型
ダブルキャビン4輪駆動 (豊松方面隊へ)
取得価格 1993万円
相手方 備北自動車株式会社

土地 高原町階見346番2 他20筆
2万8784.00平方メートル
(トマト団地農地)
契約金額 2730万円 (他1件)

人権擁護委員の候補者推薦

全会一致

松岡 純夫 さん (再任) 神石高原町油木
瀬尾 信明 さん (新任) 神石高原町高蓋
小川 和子 さん (再任) 神石高原町福永
小林 伸平 さん (再任) 神石高原町福永

議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定秀幸	藤田晃己	木野山孝志	小川清治	久保田龍泉	橋本輝久	横尾正文	横山素子	赤木俊二	林憲志	小川善久	松本議長
公の施設における指定管理者の指定 (神石高原町立病院)	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	—

その他は全員が賛成 議長は採決に加わらない

議員発議

国への提言

教職員定数の改善及び
義務教育費国庫負担制度
拡充を求める意見書

地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、次の措置を講じられるよう強く要請します。
1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

提出者 赤木 俊二
賛成者 木野山孝志

治水・治山対策予算の増額を
求める意見書

縮小された治水・治山予算だが、今後豪雨災害などによって命や家屋、インフラの被害が予想されることから次のことを要望する。
1. 危険個所の早急な再調査を行うこと。
2. 治水対策予算を大幅に増額し、治水・治山事業を早急に行うこと。そのため法律の整備を行うこと。

提出者 横尾 正文
賛成者 久保田龍泉

町政の「こころ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします
質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式



木野山 孝志 議員

問 本年度実施の学力テストの結果は

答 小・中学校ともに県・全国平均を上回った



教育長

問 本年実施の全国学力・学習状況調査の結果は。

答 教育長 小学校は、国語、算数※A・B、理科ともに、全国・県平均を上回っている。

中学校は、国語A・B、数学B、理科ともに、全国・県平均を上回ったが、数学Aは下回った。

小学校は、知識の理解・活用ともにおおむね定着しているが、中学校においては、特に数学に

において引続き課題がある。今後は、目標達成に必要な学習内容や効果的指導方法を取り入れた授業改善が必要と考えている。

問 中学校数学の課題は真剣に取り組むべきだ。特に、思考力・判断力・表現力について全般的に授業を組み立てて頂きたい。

答 教育長 入学時からより細かな指導を工夫し着実な理解を図っていく。

産直市場の統合

問 まるごと市場を廃止し百彩館とさんわ182ステーションが一緒になれば、産直市場は一つの会社となる。

エブリイ「地縁マルシェ」への出荷状況は。

答 町長 2店舗にて販売中だが、4月から8月まで5か月合計で3160万円と順調である。今後はブドウなどの果

問 統合スケジュールの進行状況は。

答 町長 百彩館は、計画どおり9月末日をもって会社を閉じ、10月1日からは182ステーションの支店として営業を継続する。

道の駅のリニューアルも順調に進んでおり、建物の建築工事は平成31年6月の完成を目指す。

問 店舗や食堂の機能は残して欲しいとの要望が強い。運営方針と精算方式は。



「学び合い」による英語授業 (神石高原中学校)

答 町長 百彩館の活性化に繋がるよう地域の方と一緒に進める。

赤字の解消は産直市場の流通の拠点として位置づけ、18%の手数料は当分の間継続し、黒字経営に努める。食堂は地域の要望に応えられるよう検討したい。

約315万円の累積赤字は会社清算経費を含み運営補助で清算する。株主の出資額はその全額をお返しする。町出資額475万円も清算完了時点

で回収するよう試算している。

問 新しい「道の駅」の組織・運営形態はどうなるのか。

答 町長 部門ごとの販面担当の取締役と会社全体を統括する支配人を取締役として配置し、リニューアル完成後の売り上げ増を目指す。

※A問題…知識の理解力 B問題…知識の活用力



寄定 秀幸 議員

問 防災・減災対策にどう取り組む

答 地域防災計画を総合的に見直す

町長

問 7月豪雨災害の総括と復旧への取り組みは。

答 町長 地域防災計画策定後、これまで類のない災害が発生し混乱する状況の中、職員がそれぞれの役割を自覚し緊急対応することができた。補助対象とならない小規模な災害も町独自の制度を創設し全力で支援する。

組織の在り方、避難所の開設、情報発信の在り方など、総合的に見直しを行い、地域防災計画に反映したい。

問 河川の氾濫を防ぐための浚渫や河道掘削、ため池の点検など安全対策は。

答 町長 県管理河川への要請を行っている。町が管理する普通河川は、河川災害復旧工事施工時に対応を考えている。

ため池については、国による全国調査が行われ、災害対象個所から対策を実施し、現状の整理から行う必要性を強く感じている。

問 防災の要としての消防団の位置づけは。

答 町長 消防団は、水の要として引き続き活躍していただきたい。今回のような大規模な災害になると、消防団だけでは対応しきれない状況となる。

今後の豪雨や地震など各種災害に備え、改めて

自助、共助の役割の重要性を再確認し、自主防災組織を中心とした地域ぐるみで防災力の強化を図っていくことが必要だ。

通学路の安全対策

問 大阪北部地震によるブロック塀の倒壊で児童が死亡する事故が発生した。本町の学校施設や通学路のブロック塀などの安全対策は万全か。

答 教育長 事故報道直後から調査を実施してきた。ブロック塀、擁壁、プール内更衣室やシャワー分離壁や消毒槽など本年度中に撤去や改修を行う予定である。

教室の猛暑対策

問 この夏は記録的な猛暑が続く、児童生徒の健康が心配された。教室へエアコンを設置すべきではないか。

この夏は記録的な猛暑が続く、児童生徒の健康が心配された。教室へエアコンを設置すべ

きではないか。

答 教育長 エアコン設置率は、普通教室18・4%、特別教室46%、全体で34%である。猛暑日は、扇風機での対応や特別教室などを活用している。来年度以降もこうした猛暑が続くようであればエアコン設置を検討したい。

不育症支援

問 不育症の治療費助成制度の創設をすべきでは。

答 町長 県内6市町で実施している不育症治療費助成の実績などを調査し、必要性を積極的に研究する。



撤去される来見小学校のプール壁（撤去後はフェンスを設置）

問 豪雨災害支援事業24億円の執行は



林 憲志 議員

町長 **答** スピード感を持って行う

問 8月補正の24億円の支援制度、どうやってより多くの被災者に届けるのか。

町長 災害見舞金支給事業4件はすでに届けた。被災宅地及び被災進入路復旧事業20件、農地農業用施設単独災害復旧事業19件の申請があった。

災害復旧は各自治振興会から上がった災害箇所について、今回の単独事業の周知も含め返答した。申請状況を見極めて予算が不足した場合、必要な予算の確保を行うなどスピード感を持って対応する。

今後の災害対応は

問 「避難指示」の発動の根拠・課題は。

町長 7月6日、20時25分に大雨特別警報が発表されたため、20時30分、町内全域に「避難指示」を発令した。

この避難時間帯は、夜間でもあり最も危険な時間帯であるため、人的被害が出てもおかしくない状況であった。避難情報の発令のタイミングや住民への伝達方法など課題の検証を行っている。地域防災計画や各種マニュアルの見直しを行う。

問 避難所の体制は。

町長 避難所開設が長期に及ぶ場合には、スタッフの確保、運営所の生活ルールづくり、炊き出しや食料調達、感染症など衛生面の配慮など、

様々な課題が生じる。避難者の体調やプライバシーへの配慮、ペットの受入れなどを想定した避難所体制の在り方を検証する。引き続き、自主防災組織などと連携した研修会を開催し、スキルの向上に努める。

問 河川・土砂災害や被災道路の情報収集と公開に関して今後の改善事項は。

町長 確認は職員で行ったが、県管理の河川も多くあり、今後は県との協議を行い監視体制強化の確立が必要だ。公開については、災害対策本部から情報提供を受けたものは、直ちにホームページ・かがやきネット及びフェイスブックに公開した。「リアルタイムでない」「災害箇所が分からない」、などご指摘を受けた。今後の反省点として生かす。

問 消防団の水防体制の強化は。

町長 今回の災害を経験し、これまで重視していなかった河川の氾濫など、緊急時の対応力を強化したい。

問 観光地の風評被害や神龍湖の流木への対応は。
町長 災害発生後の本町の宿泊キャンセル

ル人数は、約800人上った。8月31日から始まった国の観光支援事業では、被災した府県に旅行者が来てもらえるよう取り組まれている。神龍湖の流木の除去については、庄原市と連携し中国電力などへ働きかける。



大規模に崩壊した神石地区の広域農道と、防災マップの比較



赤木 俊二 議員

問 消防団の水防活動は

答 具体的な取り組みを協議する



町長

問 7月豪雨災害では、わが町でも各所で災害が発生し、消防団が活動して土嚢積みなどの水防活動を行った。今後の活動として、水防訓練や災害対応時の安全教育などが必要ではないか。

答 町長 7月豪雨災害では、延べ309人の消防団員が出動し緊急・応急活動を行った。消防における水防訓練は、今回の災害を経験し、大変重要であると考えている。

火災想定訓練と隔年で行うなど、水防訓練による技術の向上と有事における安全対策など、引き

続き消防力向上にむけ、取り組んでもらうよう消防団に要請を行う。

答 総務課長 今回の災害を受け今後の活動のあり方について消防団に再度検証をお願いしている。現在は火災の消火活動を中心に活動を行っているが、水害に対する活動も重要なことだと改めて感じた。具体的な取り組みを消防団団長と協議をしていく。また、装備に関しても状況を見ながら必要なものを配備する。

被災農地への対応

問 今回の災害で町内でも多くの農地が被災した。現在、中山間直接支払制度に関わっている農地の中には来年度作付けが危ぶまれる農地もある。災害の場合は交付金の返還は求めないとなっているが、この内容は、

また、災害を機に耕作放棄地が増えることが懸念される。対応は。

答 町長 災害復旧する予定のない農地を協定農用地から除外せず管理も放置した場合は、交付金の返還となる。耕作放棄地対策として国の農業施設災害の対象とならなかった農地に、町単独で補助事業を創設した。

問 中山間直接支払制度は5年一期で来年度が5年目だ。復旧が遅れた場合どうなるのか。

答 産業課長 次期の内容が不明なため確認中だ。

問 早いうちに国に確認をお願いしたい。また、町独自の補助事業を活用と言うがこれで十分に対応できるか。

答 町長 趣旨としてはお見舞い金である。通常の補助のように一件一件対応するようものではない。今後協働のまちづくりという観点に立ち中身を検討したい。



復旧が期待される被災農地

問 被害状況の情報不足の対策は



横尾 正文 議員

町長 **答** 他の市町を参考に検討

問 被害状況の情報不足が指摘されているが今後の対策は。また小野自治振興会の災害対応が素晴らしかったと聞くが。

答 町長 電話での問い合わせが多く、対応しきれない状況となった。ホームページや、かがやきネットでの情報発信をしたが分かりにくいという指摘を受けた。今後は他の市町を参考に検討をする。

問 指揮系統は十分であったか。

また素晴らしい地域事例を紹介し、全体に広げていく。

答 町長 地域防災計画を本格運用して初めての災害対応という事で、情報の整理、避難所運営など、多くの課題が残った。今後整理し、検討していく。

町立病院の運営は

問 指定管理者制度のメリットをどうとらえているのか。

答 町長 民間の活力を活用し、住民サービスの向上や経費の節減を図るものである。町立病院の施設の運営は、専門的知識と技能を持つ指定管理者が行うことで、地域医療の発展と住民福祉に繋がる。

問 3期目の基本協定書を協議するときに、神石高原町立病院協議会から出された意見をどう反映するのか。

答 町長 病院側と情報を共有し、今後の運営で対応していく。

問 指定管理者決定のプロセスは。

答 町長 8月に選定委員会を開催し、提出された申請書に記載された事業計画の審査を行い、今後も総合的な医療福祉サービスの提供が期待できることから、候補者として選定した。

問 赤字補てんの考え方は。

答 町長 政策医療交付金を交付税の範囲内とすると、必要な医療サービスが提供できなくなる可能性があるため、完全精算性で取り組む。

問 基本協定書の内容はどのような形で報告するのか。

答 町長 基本的には、現状の第2期の協定書を変更しない方向で考えている。報告は、協定書作成の段階で逐次概略を報告する。

問 神石地区のクリニックには、NPO法人から派遣された外科医が、週一回診察支援を行い好評である。

答 町長 その医師の派遣要請と法人が運用しているヘリコプターを救急に活用することを検討できないか。NPOからの医師の派遣については、指定管理者も含めてどういった対応がいいのか検討する。またヘリコプターの活用については、必要があれば検討したい。



©ピースウィンズ・ジャパン提供

NPO法人が運用する災害救助ヘリ

問 災害復旧を急げ

答 最重要課題として取り組む

町長

問 避難指示などはメール配信に重きを置かず、告知端末も多用すべきでは。

答 町長 災害の時は従来告知は1回だが聞き漏らしがないように複数回の放送を行った。

問 災害復旧は3年を予定しているとの説明があったが、住民は1日も早い復旧を望んでおり今年度の事業を一部中止しても急ぐべきだ。
来年度予算に災害関連はどれくらい盛り込むのか。

答 建設課長 年内に災害査定を完了させ工

事に取り掛かる。今年度の道路改良工事は全て発注しているがコンサル業者の確保が困難なため、2路線の延期を検討している。

来年度は災害復旧を最重要課題とし優先的に取り組むべき対策と、見送りを行う事業を仕分け予算編成する。

また農地・農業用施設は作付けに影響が大きい箇所を優先し復旧する。

問 広域農道の復旧見通しと崩土除去、全壊家屋の原状回復は。

答 建設課長 現在地盤の調査と、測量設計をしている。早期復旧を目指し、準備ができた第

発注する。崩土除去は県が行い、全壊家屋の回復は、住家でないのが今の制度の中では困難である。

問 所有者は別荘として扱っている。また、

地域に貢献されており、高光振興会としては復旧を強く望んでいる。広域農道が崩壊したのであり、管理者の責任は。

答 町長 気持ちはわかるが、家屋の現状回復はできない。ただし治山堰堤を越えた土砂に関しては、県が撤去する。

ゴミ袋価格の見直しは

問 ゴミ袋が近隣自治体に比べて高い。見直しができないか。

答 町長 価格は16年間変更してない。平成36年度からの広域処理体制の構築にあわせて検討する。

問 平成36年度まで見直さないのか。

答 環境衛生課長 見直しは考えてない。

問 ゴミは毎日出るし、町民全戸にかかわっている。ゴミ袋を下げるのが一番の行政サービスではないか。町長の公約実現には予算を十分使っている。直接住民にかかわることに使うべきだ。

答 町長 今後発注方法について検討する。

問 ゴミ袋の製造業者は入札制にしてコストダウンを図れ。

答 町長 まちづくりに使っており、公約だけではない。



分別され収集される可燃ゴミ

活動報告

総務文教常任委員会

調査内容

社会福祉施設訪問

- ・ ビーブル神石三和
- ・ 社会福祉法人 神石よつば会
- ・ シルトピア油木

委員長

横尾 正文

副委員長

木野山孝志

委員

松本 彰夫 赤木 俊二
林 憲志 小川 善久

調査日時

平成30年8月27日(月)

調査結果

ビーブル神石三和 利用者の在宅復帰を目指しているが介護ができないケースが多く残る方が多い。外国からの人材に期待している。



社会福祉施設訪問

神石よつば会 20人程度の方が作業をしている作業内容は農

作業・尿素水の作成・お菓子作りなど。

収入は1人1カ月1万7千円程度(県内平均1万5千円)

シルトピア油木 国の処遇改善は一部の職種にしか対応して

おらず、不公平感がある。

まとめ

最大の問題は人手不足であり、一部施設では県補助金の減額が問題となっている。

調査内容

7月豪雨災害での被害状況

町内各所の被災場所に赴き現地調査を行った。

委員長

久保田龍泉

副委員長

小川 清治

委員

藤田 晃己 寄定 秀幸
橋本 輝久 横山 素子

調査日時

平成30年7月19日(木)

調査結果

被害の全体を早急に把握し基本的な復旧計画を立てることが必要。

①道路網は生活交通道路の再建をする。

②農地保全のため災害復旧の対象にならないものに対する支援。

③家屋の進入路としての私道に対する支援。

④住宅への再建支援。

まとめ

町としては最大限の支援を行い、一日も早い復旧、復興ができるよう努力することを要望する。



被災現場を視察

活動報告

産業建設常任委員会

撮影時期 ついに決定!!

ロケ地は 紙ヒコーキ・タワー など



映画撮影事業

ドラマ「料理人ワタナベ」

今、町内の各種団体でドラマ制作協力員会（観光協会が事務局）を結成し、炊き出しなどの協力を行うため、準備会議が行われています。

撮影は1月下旬、5日間

程度、町内の紙ヒコーキ・タワー、油木高校、道の駅、帝釈峡などの施設で行う予定です。

10月23日に町長が東京で記者発表を行います。

ドラマは本町をはじめ、日本国内の5市町を舞台にした、地域発の映画です。

主人公「料理人ワタナベ」が無実の罪をきせられ、事件の容疑者となり、国内を放浪、追う刑事や、中国人パ

テシエ（洋菓子職人）とともに、コメディタッチで展開します。
主演のワタナベや刑事役は誰もが知っている俳優の予定で、放映はネットなどで行います。



とよまつ紙ヒコーキ・タワー

まちの声

お便りの一部を掲載

●道の駅リニューアルオープンを楽しみにしています。（60代 女性）

●町県道法面の支障木除去は出来ないでしょうか。（60代 男性）

●クイズ大好きです。し尿処理施設や百彩館の件が気になります。（90代 女性）

●今年は自然がもたらす力の恐ろしさを感じます。町民同士こんな時こそ仲良くしましょう。（60代 女性）

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① 定住団地
- ② 地産地消
- ③ 神石高原

第37回議会クイズ当選者

油木地区 馬屋原 紀美子さん

おめでとうございますー！

元気なグループ紹介だよ!

神石地区



落語家を招いた 元気づくり生き活き講演会

高齢者介護研究会

「何かできる事があるはず!」
考えるよりまず行動!

高齢者介護研究会は、住み慣れたわが家で、最後のその日まで、生き生き暮らしてほしいとの思いで、平成15年に保健・医療・福祉に係わる仲間で結成したボランティアグループです。



人情時代劇を公演 (やまなみ劇団)

平成18年からは、講演会や映画上映を行っています。
平成26年からは認知症予防カフェ「ふれあい」を第2・4火曜日に老人福祉センターで開催しております。
今年8月には、認知症にも効果があると言われる回想法を取り入れた、人情時代劇を公演し多くの参加者に好評を頂きました。
今後メンバー力を合わせて頑張っていきます。応援よろしくをお願いします。

代表 高橋 文子

発行責任者 議長 松本彰夫
住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-189-1340
FAX 0847-185-4201

第38回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- ① P2 健全財政を〇〇
- ② P10 西日本〇〇災害
- ③ P19 ドラマ「〇〇〇ワタナベ」

💡 ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島二〇二五番地
神石高原町議会事務局「第38回議会クイズ係宛」

●締め切り

11月12日(月) 消印有効

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は **12月**です

編集後記

地球の神様のご機嫌が悪いのか。

近年は、春秋なくて厳寒の冬と猛暑の夏が大物顔。加えて今夏は地震と豪雨が相次いで日本列島を襲いました。

何をにおいても災害対策が最重要課題です。9月決算議会も災害復旧・防災対策に議論が集中しました。

地域を背負って立つ覚悟があるか。今こそ、本気度が問われます。(孝)

表紙の紹介



地域の人で賑わう牧自治振興会の運動会

議会広報常任委員会

委員長 赤木 俊二
副委員長 横山 素子
委員 木野山孝志
委員 林 憲志
委員 小川 善久